

第4号

2017.10.28  
発行

# あつ 温ちゃん通信

発行・編集 やまね 温子後援会 〒739-1805 安芸高田市高宮町原田 1378  
Tel/Fax : 0826-57-1875 携帯 : 090-1180-1136  
mail address : akoyamane@gmail.com

舞え！かぐら王子  
(神楽門前湯治村にて幼児の舞手)

# 温ちゃんの一般質問

～まちづくりと  
地域振興組織～

## 協働のまちづくり



A

合併から13年、地域振興組織を中心となつて市民と行政の協働によるまちづくりが推進されてきたが、地域振興にかかる補助金についても例外なく削減されている。これからまちづくりと地域振興組織についてのお考えは。

Q

各町の地域振興組織から5名ずつが集まる組織されたまちづくり委員会は、平成27年度の地域振興組織の活性化に関する報告書において、特に人的支援と財源についての提言をされている。また、28年度にも同様の提言が含まれているが、どう受け止めているのか？

A

できるだけ参考にしながら、次の展開を図っているが、市民の方々のライフスタイルをしっかりと把握した中でのまちづくりが必要。振興会にも温度差があるが、今回、生活支援員制度という仕組みを使うことによって、特色ある事業の補助金を一部カットした減額分の3倍くらいの額が、全体では地域の中に活動の資金として定着する仕組みも用意した。お互いが地域の中で安心して暮らせる環境づくりを地域振興会とともに、これからも一緒に対応していくたい。



地域の財産を活かし祭り開催 高宮ハーモニー広場は地域の財産



10月はピンクリボン月間、乳がんの早期発見に向けた検診を!  
女性の11人に1人が乳がんにかかっています



みんなで巻いた!  
217mの巻き寿司完成

## 大地の祭り(10月22日)

# 温ちゃんの一般質問

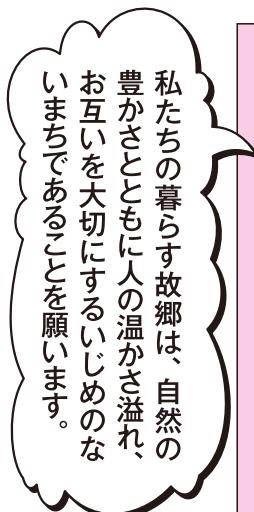
～未来に向けた教育～

## いじめや不登校の現状は？

いじめや不登校の現状

平成28年度	いじめ	不登校
小学校	15件 前年度比5件増	5名 前年度比2名減少
中学校	3件 前年度比5件減少	14名 前年度比1名減少

※平成18年度の不登校児童生徒数51人をピークとして減少傾向にある。



学校では、いじめの未然防止に向けた取り組みを進めている。いじめを認知した場合は、早期解消に向けての対応を積極的に進めている。

また、義務教育終了後、概ね1年間は進路決定などの定期的な連携をとっている。

Q いじめや不登校の現状、さらにには義務教育終了後の状況把握は？

A 教育環境（トイレを含めた）整備と登下校時の安全（不審者対応）は？

## 教育環境整備

## 未来に向けた教育

## 教育環境整備

## 未来に向けた教育

私たちの暮らす故郷は、自然の豊かさとともに人の温かさ溢れ、お互いを大切にするいじめのないまちであることを願っています。

Q 教育環境（トイレを含めた）整備と登下校時の安全（不審者対応）は？

A 市内小中学校に2年計画でエアコン設置予定。今年度は中学校へはほぼ設置完了し、2学期から運用開始。また、平成30年統合予定の小学校への整備を進め、来年度は残り小学校への設置計画。また、ICT機器導入も平成30年度で市内小学校への電子黒板導入完了し、31年度、市内小中学校にタブレット端末導入を計画。

また、市内全小中学校にバリアフリートイレ設置が完了した。

学校規模適正化の進捗状況を勘案しながら、環境整備に努める。

登下校時の不審者対応については、発見者や家族から学校に報告されるという形で把握することがほとんど。市内小中学校への現状周知を行い、ケースにより、保護者へ注意喚起や、場合によつては、災害時対応と同じく学校までの送迎を保護者にお願いすることもある。今年度1学期、夏休みも何件か不審者対応をしている。

Q 未来に向けた施設展開は？

A ICT化による環境整備によって、レベルが上がるよう教育委員会に指示している。

## ～提言～

ICT（情報通信技術）が進んだ社会では、生活の場にも、働く場にも大きな変化が起きている。ICT教育環境整備はハード面だけではなく、活用にはソフト面の整備も必要。

さらには、ICT教育を推進し、将来的にコールセンターなどの誘致の可能性を目指した人材育成を、地元小中学校から行い、そして地元の高校に、さらには地元での就労につなげていくことを目標としたICT人材育成の早期検討を提言しました。

# || 指標から見た安芸高田の財政 (1)財政力指数 ||

市町村や都道府県の財政をチェックするために、さまざまな指標が作られています。安芸高田市の財政を、代表的な指標から見ていきます。まずは、財政力指数から。

## (1)財政力指数

財政力指数は、自治体の財政力の強さ、基礎体力を示します。

自治体が標準的な仕事をするために必要な財源を、地方税などの収入でどれだけまかなることができるかを示します。指数が高いほど財政力が強い、財源に余裕があるというわけで、この財政力指数が1を超えると、国から地方交付税の交付を受けないで、財政運営を行う不交付団体となります。平成28年度の不交付団体は77団体。その内訳は、都道府県では東京都のみ、残り76団体が市町村で、全国1718市町村のわずか4.4%でした。

そして、財政力指数が1以下だと財源が足りないので、国から地方交付税の交付を受けます。この地方交付税は、国民がどのまちに住んでもだいたい同じ行政サービスを受けられるようにするためのお金で、言ってみれば国からの“仕送り”です。安芸高田市にとつて頼みの綱といえます。

### あとがき

睡眠負債。耳慣れない言葉ですが、日々の睡眠不足が借金のように積みかさなり、心身に悪影響を及ぼす状態とか。わずかな睡眠不足が積み重なると、生活や仕事の質が低下するだけでなく、うつ病や、がん、認知症などの病気にならぬる恐れがあるとされています。温子議員の睡眠時間は短いので、これからは、しっかりと睡眠をとつて元気に頑張ってほしいものです。私もそばで騒音による安眠妨害を憤るよう心掛けたいと思います。今後とも温子議員に対するご支援ご指導をよろしくお願いします。



安芸高田市の財政力指数は、図1のようになじみます。合併後平成21年度のピーク0.37に向けて改善されてきましたが、その後右肩下がりの傾向にあります。

図2は、県内の人口の類似した市（大竹市、竹原市、江田島市）や近隣市（三次市、庄原市）と比較したものです。大竹市、竹原市は合併をしていない市です。江田島市、三次市は安芸高田市と同じく平成16年に、庄原市は17年に合併した市です。

平成28年度決算で地方交付税の割合は、45.5% 約半分、他にも国や県から使い道が決まった仕送り、さらには借金などを合わせると約73.8%を仕送り・借金に頼っている財政なのです。

図1. 安芸高田市の財政力指数の推移

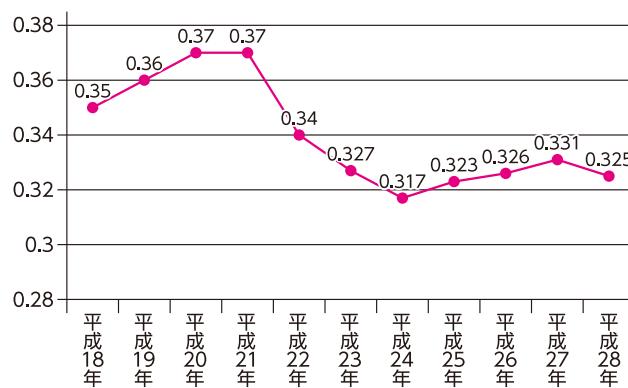


図2. 類似団体との財政力比較

